

議事録

案 件：第 21 回清流ルネッサンスⅡ佐鳴湖地域協議会

年月日：平成 24 年 5 月 28 日 13：30～15：30

会場：浜松総合庁舎 101 会議室

【参加者】

委員 29 名

行政関係者（委員以外） 8 名

一般傍聴者 4 名

記者 2 名（中日新聞・静岡新聞）

【概要】

今回の協議会は、議事（1）～（4）について協議し、承認を得るべき議事として取り上げた「（1）協議会規約の一部改正（目的、協議会の所管事務、佐鳴湖のみらいを育む会、委員名簿等）」、「（2）平成 23 年度地域協議会収支決算」及び「（3）平成 24 年度地域協議会予算（案）」について承認を得た。また、議事（4）の「県、市の平成 23 年度事業報告と平成 24 年度事業計画」について、事務局より報告を行った。

【会長あいさつ】

- ・ 平成 23 年度を目標年次とした浄化対策は、いくつかの課題を残しつつもほぼ達成できたと認識している。従って、本年度は次期計画について検討する時期であり、その際にはいくつかクリアしなければならない課題がある。

1 つ目は、従来、汚染源対策が中心であったが、それだけで良いのか、新たなステージの浄化対策が必要ではないのか。

2 つ目は、佐鳴湖は市民に親しまれている空間である。これを今後どのような空間に整備していけば良いか、市民や住民の皆さんの意見を十分に入れ込んだ「佐鳴湖のあるべき姿」を検討する必要がある。

3 つ目は、これまでも行政と市民が協力してこの課題に取り組んできたが、さらに強力な体制をつくりあげ、取り組んでいく必要があるということである。

いずれにしても、このような課題を検討し、次期計画に盛り込んでいかなければならない。今年には重要な年になるので、より一層の皆様のご指導やご協力をお願いしたい。

【協議内容】

（1）協議会規約の改正について

〔事務局から、資料 1、参考資料 1、2 により説明〕

（会長）

- ・ 事務局から協議会規約の改正について説明があった。
- ・ これについて、ご意見やご質問があればお願いします。

(委員)

- ・参考資料 1 に平成 23 年度に河川対策が完了とあるが、その内容を教えていただきたい。

(事務局 (浜松土木))

- ・これまで、汚染源対策を補完する対策として河川対策を実施してきた。具体的には、湖内の泥や新川のヘドロの除去、接触酸化施設の設置等である。昨年度には新川上流の窒素分を浄化する施設を設置した。

(委員)

- ・河川対策は終わったのか。まだこれから実施することはあるのか。

(事務局 (浜松土木))

- ・河川対策として考えられる対策は、全て実施したものと認識している。今後は設置した施設の効果を最大限に発揮するための維持管理が主になるものと考えている。

(委員)

- ・例えば、西岸に水路を作った。ヨシ等を植えて水を流すということであったが、現状はヨシが育っていない状況にある。私はまだ終わったという認識ではないがどうか。

(事務局 (浜松土木))

- ・新川の河口部にヨシ原を造成したが、ヨシがうまく根付いていないのは確かである。これについてはうまく根付くよう、今年度、何かしらの対策を実施することを考えている。

(委員)

- ・よろしく申し上げます。

(委員)

- ・規約そのものについての意見ではないが、自然生物に関する部会を新たにつくるため、助言をいただける方を専門委員会に加える必要があると思われるがどうか。

(事務局 (浜松土木))

- ・次期行動計画の策定にあたり、専門委員会にも素案を諮りたいと考えている。今後、改めて専門委員会委員に対する委嘱をすることとなるが、委員の選定に際して相談に乗っていただければ、と考える。

(会長)

- ・他にございますでしょうか。
- ・それでは、意見も出尽くしたようですので、ここでお諮りしたいと思います。

- ・協議会規約の改正について、事務局の提案のとおりとすることが適当であると、協議会として承認したいと思います。いかかでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

- ・それでは承認されたということで、よろしく申し上げます。

（２）平成 23 年度地域協議会収支決算について

〔事務局から、資料 2、3、参考資料 3 により説明〕

（会長）

- ・ただいま、事務局から平成 23 年度地域協議会収支決算について説明があった。
- ・これについて、ご意見やご質問があればお願いします。
- ・無いようでしたら、平成 23 年度地域協議会収支決算について承認いただけますでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

- ・それでは承認されたということで、よろしく申し上げます。

（３）平成 24 年度地域協議会予算（案）について

〔事務局から、資料 4、参考資料 4 により説明〕

（会長）

- ・ただいま、事務局から平成 24 年度地域協議会予算案について説明があった。
- ・これについて、ご意見やご質問があればお願いします。

（委員）

- ・環境美化ネットの管理をしている所管はどこか。大水の際にネットが深く沈んでしまいゴミが流れてしまっている。
- ・また、ヨシ刈りは北岸に自然に生えているものも対象としてはどうか。
- ・また、「さなるこイメージUP大作戦」の予算が今年度はゼロとなっているが、なぜ今年は開催しないのか。

（事務局（浜松市））

- ・環境美化ネットは浜松市河川課が管理している。いただいたご意見は河川課に伝える。

（事務局（浜松土木））

- ・北岸のヨシ刈りについては、予算で対応できる範囲で実施したい。
- ・また、昨年度「さなるこイメージUP大作戦」として「佐鳴湖感謝祭」を実施した。これはルネⅡ行動計画の最終年度ということで、効果のPRが目的であった。今後も続けたいという要望があれば、予算状況を勘案しながら開催できる時期に開催したい。

（事務局（浜松市））

- ・今年は、ヨシ刈りのイベントの際に、佐鳴湖に関わる市民団体も含めてイベントを実施したいと考えている。そのため予算を昨年よりも多く計上している。

(委員)

- ・佐鳴湖感謝祭は、内容的には好評であったが、開催時期が既に 12 月に入っていたと思う。秋など、良い季節に開催し、多くの方が参加できる工夫をした方が良い。

(委員)

- ・北岸のヨシ原には希少種の昆虫がいる。また様々な生物が生息している。静岡県の戦略課題研究にまとめられているので、その状況に配慮し、計画を進めていただきたい。

(事務局 (浜松土木))

- ・了解しました。

(会長)

- ・ほかにご覧いませんか。
- ・無いようでしたら、平成 24 年度地域協議会予算案について承認いただけますでしょうか。
(「異議なし」との声あり)
- ・それでは承認されたということで、よろしく申し上げます。

(4) 県、市の平成 23 年度事業報告と平成 24 年度事業計画について

〔事務局から、資料 5 により説明〕

(会長)

- ・ただいま、事務局から県、市の平成 23 年度事業報告と平成 24 年度事業計画について説明があった。
- ・これについて、ご意見やご質問があればお願いします。

(委員)

- ・せせらぎ水路のビオトープの工事は完了しているが、植栽がまだ行われていない。また水路で子供が遊べるようにしているが、注意事項の啓発看板がない。この点についてはいかがか？

(事務局 (浜松土木))

- ・昨年 12 月に工事が完了しているが、ご指摘の内容については確認し、後日、ご報告させていただきます。

(会長)

- ・利用状況は把握しているか。

(事務局 (浜松土木))

- ・水路で遊んでいる状況については把握しているが、利用者数等の詳細な調査は実施していない。

(委員)

- ・湖水から汲み上げた水と湖に戻す水について、COD 値の調査をしていると思うが、どのような状況か。

(事務局 (浜松土木))

- ・浄化効果の調査を実施しているが、具体的な資料が手元にないため、この場でお示しすることはできない。

(委員)

- ・具体的な数字でなくても、効果は感じられているか。

(事務局 (浜松土木))

- ・水温が高い夏場は効果が高く、冬場に効果が若干低くなるという傾向は出ている。

(委員)

- ・引き続き調査し、データを残していただきたい。

(事務局 (浜松土木))

- ・引き続き調査を実施し、結果をご報告する。

(委員)

- ・ねらいと効果を地域に広報したい。迅速なデータの提供が応援団を増やすと思うのでよろしくお願ひしたい。

(委員)

- ・雨水浸透ますの設置目標数について、1桁あるいは2桁変える時期であると、先進地の事例を挙げ、これまでも申し上げてきた。雨水浸透ますが問題を起こしにくい敷設の方法として、道路下へ敷設する方法もある。その方法をもう少し研究し、敷設する範囲を広げる時期であると考えろ。
- ・また、面源負荷対策をどこで取り上げるかという問題は、今年度もう少しあっても良いと思うがいかがか。

(事務局 (浜松市))

- ・市としては、雨水浸透ますの連絡会を設け、関係する課で勉強している。また、補助金については財政部局と相談しながら進めている。補助金の調査も実施しているところであり、どのように実施していくか市内部でも検討しているということでご理解いただきたい。

(事務局 (浜松土木))

- ・面源負荷対策を啓発するチラシの作成や、エコファーマーの取組の支援を行うことを予定して

いる。

(会長)

- ・汚染源対策は進んでいるが、一方で面源負荷対策の課題が残されている。次期計画の1つの柱になると思われる。それでも、何らかの取組を実施してはどうかというのが委員のご意見であると思う。これについては、今後も十分検討していきたい。

(事務局（浜松市）)

- ・環境保全課としても面源負荷対策について検討しているところである。今後、具体的な対策を提案していきたい。

(委員)

- ・県の事業計画に佐鳴湖の防災対策が掲載されていないのはなぜか。堤防の建設工事を行っているが、静岡大学の艇庫移設の話し合いやボート屋との交渉の進捗状況はどうなっているか。
- ・また、現在工事を行っている所の用地買収の状況や完成時期はいつか。佐鳴湖全体の問題であるため、現状をお話しいただきたい。
- ・また、浜松市が北岸管理棟の段子川の反対側の養魚場があった所の用地買収をしたと聞いている。ワーキンググループでは、資料館を作りたいと考えているが、どのようになっているか。
- ・また、小藪の公園用地の歩道が完成しているが、未整備のところはいつ整備するのか？

(事務局（浜松土木）)

- ・静岡大学の艇庫については北岸への移設を交渉しているところである。ボート屋についても交渉を進めているが、現時点で契約には至っていない。

(委員)

- ・見通しはある程度立っているのか。

(事務局（浜松土木）)

- ・当事務所の用地課にて交渉を進めているが、まだ見通しは立っていない状況である。

(委員)

- ・水門の計画は、どのような計画で話し合いをしているか。

(事務局（浜松土木）)

- ・詳細については、次回報告させていただきたい。新川の堤防工事については、順調に進んでいる。土量が多いため、盛土材の確保等、不確定な状況があるため、現時点で完成時期を申し上げることはできない。

(委員)

- ・以前、用地買収が難しいという話を聞いたがどのような状況か。

(事務局（浜松土木）)

- ・用地買収については完了している。

(事務局（浜松市）)

- ・小藪の公園については、公園課が出席していないため、後日、報告させていただきたい。

(委員)

- ・以前は公園課も当会議に出席していたと思う。今後は浄化対策だけでなく周辺の環境整備も進めるため、公園整備も重要な課題と考えていただきたい。

(委員)

- ・資料5の事業計画、1流域対策の(2)下水道への接続の3つ目に“自治会長による説明会の実施”とあるが、私どもの地区は4町のうち1町だけ下水道が整備され、3町は整備されていない。
- ・5月1日に、市の下水道課長に将来どうなるか質問したところ、費用対効果の点で、下水道を整備する計画はないという話であった。説明会の実施については、どのように考えたらよろしいか。

(事務局（浜松市）)

- ・上下水道部としては、合併浄化槽の普及に力を入れていきたい地域と考えている。今年度から合併浄化槽の普及に関する説明会を検討しているため、そちらの催しへのご協力をお願いしたい。

(委員)

- ・単独浄化槽で良い、という時代に建てられた家がほとんどである。新築については合併浄化槽で対応しないと許可が出ないが、単独浄化槽を合併浄化槽へ交換する場合は、建物や樹木が障害となり交換できない状況もある。
- ・地区には東神田川や九領川等の河川が流れているので協力したいと考えているが、樹木伐採や重機の使用といった費用が掛かる。その点について検討していることはあるか。

(事務局（浜松市）)

- ・個別の事情があるが、新設よりも増額した補助制度を設けているので、ご活用いただきたい。説明会において、個々の事情に合ったご相談を受けさせていただければと考えている。

(委員)

- ・分かりました。地区に説明していただけるということでよろしいか。

(事務局 (浜松市))

- ・普及に向けての説明会ということで、まず自治会の役員の方々にご相談し、説明の場を設けたい。

(委員)

- ・下水道料金は7月から値上がりするが、合併浄化槽の管理費と下水道の使用料では、合併浄化槽の管理費の方が高いと聞いているがどうか。

(事務局 (浜松市))

- ・具体的な数値はこの場でご説明できないが、年1回の清掃、10人槽以下であれば年3、4回の保守点検、水質検査があり、合わせて5万5千円程度掛かる。単純に比較すると下水道料金よりも2万円から2万5千円程度高くなる。

(委員)

- ・下水道整備地域でない場合は負担が大きくなる。同じ浜松市民であるので、考慮していただきたい。浄化槽は民間委託であるので、整合性を取るような何らかの対策を考えていただければ合併浄化槽にする家も増えてくると思われる。

(委員)

- ・宇布見橋より上流は佐鳴湖である。そこへ注ぐ河川がきれいにならなければ佐鳴湖はきれいにならない。住宅が建設されているので、下水道整備の計画を見直すことがあっても良いのではないか。

(委員)

- ・大規模開発等で団地等ができれば可能であるという話を聞いた。それがなければ今のままである。

(事務局 (浜松市))

- ・下水道事業も財政的に厳しい状況であり、下水道料金の値上げをさせていただいている。その中で費用対効果の点で、面的に住居が密集していない地域については、公共下水道よりも合併浄化槽を普及させていきたい。

(委員)

- ・下水道整備の事業費等の現状を地元の方によく分かるように説明することが、合併浄化槽の理解を得るためにも大事である。

(事務局 (浜松市))

- ・説明会で、地元の方に分かるようご説明させていただきたい。

(委員)

- ・浜松市の下水道事業費は年間 90 億ぐらいかけていると思う。道路整備と同様で、2、3件しかない山間部に道路をつくると1件当たり1億掛かるが、都市部に作ると1件当たり5万円になるというような話で、費用対効果というのは1件に何千万円掛けて整備して良いかというつりあいの問題である。これからは補修の費用も掛かってくる。
- ・琵琶湖や霞ヶ浦でも下水道整備率は100%ではないので、調整してやっていかなければならないと私は認識している。

(会長)

- ・他にございませんか。
- ・無いようでしたら、この件については以上といたします。

(会長)

- ・以上で、本日本日予定されていた議事は終了しました。
- ・活発にご意見をいただきありがとうございました。

以上